

「令和の時代」を生きる熊本の子供たちのための

# GIGAスクール構想とは!?

Q&A



将来の変化を予測することが困難な時代を迎え、日本の教育が大きく変わろうとしています。  
新しい時代を生きる子供たちのために、どのような授業が行われるのか分かりやすく解説します。

Q 「GIGA（ギガ）スクール構想」って何？

※GIGA=Global and Innovation Gateway for Allの略  
多様な子供たちの資質・能力が一層確実に育成できる教育のこと

A 授業でデジタル機器を活用する教育改革です

文部科学省は、デジタル機器（電子黒板・タブレットPC等のICT機器）を使った授業を「令和の学び」の標準的な姿として示しました。理由として、日本の教育はICTの環境の整備が遅れていることで、授業でのデジタル機器の活用も世界的に最下位であることが挙げられます。これからの授業においては、学力をつけることと併せて、「情報を活用する力」を育成することが極めて重要であり、それを実現する理念がGIGAスクール構想なのです。



GIGAスクール構想の実現へリーフレット  
文部科学省



[https://www.mext.go.jp/content/2020\\_0625-mxt\\_zy0001\\_000002128\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/content/2020_0625-mxt_zy0001_000002128_1.pdf)

Q 子供たちの授業はどう変わるの？

※ICT=Information and Communication Technologyの略  
「情報通信技術」のこと

A 「文房具」の一つとしてICT機器を使います

チョークと黒板だけで教師が一方向的に教える授業だけではなく、子供たちそれぞれが、あらゆる教科で、タブレットPCなどのICT機器をフル活用しながら学びを深めます。様々な情報を集めて読み取ったり、分かったことや考えたことをもとに話し合ったりすることで、自ら問題を解決する力を身につけます。



学校における1人1台端末環境プロモーション動画  
(公式YouTube)  
文部科学省



[https://www.youtube.com/watch?v=K0wsp\\_vy9KM](https://www.youtube.com/watch?v=K0wsp_vy9KM)



先生が

子供が

みんなで

家庭で

Q 熊本県ではどんな準備がすすめられているの？

A ICT機器整備と教員の研修が行われています

本県においても、GIGAスクール構想の実現によって教育の質を向上させるために、学校現場でのICT機器環境整備と、教員が日々の授業でICTを活用するための研修を実施しています。

## ■ ICT機器の整備

- 校内通信ネットワーク  
R2年度中に全公立学校の普通教室等にWi-Fi環境整備
- 学習者用コンピュータ  
県立高校・特別支援学校：R4年度迄に1人1台整備  
市町村立学校：R2年度中に1人1台整備
- 大型提示装置（電子黒板等）・ICT支援員  
県立高校・特別支援学校：R3年度中に整備  
市町村立学校：市町村の計画に沿って整備

## ■ 教員の研修

- 1人1台環境を十分に生かした授業ができるように、教員の指導力を高める研修を様々な形態で実施しています。
- ガイドブック
  - オンライン研修
  - 対面型研修
  - 訪問支援研修 等



ICT活用研修パッケージガイドブック集  
県教育委員会作成



[https://www.higo.ed.jp/colas/ICT/GIGA\\_package](https://www.higo.ed.jp/colas/ICT/GIGA_package)